

サミットが日本、大阪で 開催される意義について

【G20サミットとは?】

G20サミットとは、メンバー国や招待国の首脳、国際機関など、37の国や機関が参加し、経済分野を主要議題として毎年開催される国際会議です。サミットには、もともと「頂上」や「山頂」という意味があり、G20は「Group of Twenty」の略で、G20メンバー国のGDPの合計は全世界の約8割以上となります。

2019年は日本が議長国となり、大阪で開催されます。日本がこれまで経験したことのない大規模な国際会議となります。

【どの国が参加するの?】

アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、フランス、ドイツ、インド、インドネシア、イタリア、日本、メキシコ、韓国、ロシア、サウジアラビア、南アフリカ共和国、トルコ、イギリス、アメリカの19か国に加え、欧州連合(EU)がメンバー国です。

また、招待国・国際機関は、オランダ、シンガポール、スペイン、ベトナム、ASEAN議長国(タイ)、AU議長国(エジプト)、チリ(APEC議長国)、セネガル(NEPAD議長国)、国連(UN)、国際通貨基金(IMF)、世界銀行、世界貿易機関(WTO)、国際労働機関(ILO)、金融安定理事会(FSB)、経済協力開発機構(OECD)、アジア開発銀行(ADB)、世界保健機関(WHO)となっています。

【いつで開催されるの?】

大阪国際見本市会場(インテックス大阪、南港北1丁目5-102)で開催されます。

【サミットではどんなことを話し合っているの?】

G20サミットでは主に世界経済に関する課題について議論されます。近年取り上げられる議題として、世界経済、貿易・投資、開発、気候・エネルギー、雇用・対策、移民・難民問題等があります。



G7伊勢志摩サミットにおける集合写真撮影

(出典: 官邸ホームページ https://www.kantei.go.jp/jp/97_abe/actions/201605/26summit.html)

【G20サミットが大阪で開催される とどうなるの?】

開催期間中は、G20各国代表団、国内外報道関係者、日本政府関係者、警備関係者、支援事業者など、約3万人の方々が大阪を訪れることが想定されています。

G20大阪サミットの開催を通じて、大阪・関西が歴史・文化など様々な魅力にあふれ、「安全・安心で世界に貢献できる都市」であることを世界に発信します。

また、多くの方が大阪を訪れると経済の活性化にもつながります。そして、G20大阪サミットの成功が「2025年大阪・関西万博」開催への弾みとなり、大阪・関西のさらなる成長へのインパクトとなります。

【住之江区では】

G20大阪サミットに向けて、開催地となる住之江区の小中学校14校において、世界の子どもを取り巻く状況や国際問題などを通じて外交について関心を高め、サミットの開催意義などを学ぶための講座を開催。大阪を訪れるたくさんの方々をあたたくお迎えしたいということをお伝えしました。

また、区民・事業者の皆さまにサミットの開催について広く知っていただくため、区役所では、ポスター掲示、のぼりやカウントダウンボードの設置、横断幕の掲出なども行ってきました。



▲小中学校で開かれたサミット講座の様子(安立小学校)

【住之江区長より】



G20大阪サミットが住之江区で開催されることで、「SUMINOE」に世界の人々の注目が集まります。グローバル社会の中で、この機会は住之江区にとっても大きな力になることを期待しています。

また、子どもたちにとっても、世界の主要な国々の大統領や首相が自分のまちに来るといふまたとない経験になります。将来、国際的に活躍するきっかけになってくれればうれしいです。

なお、開催日前後は交通規制など皆さまにご不便をおかけすることになりますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。